

山武地域部会の開催結果について

千葉県 健康福祉部 健康福祉政策課 政策室

電話番号：043-223-2609 メール：khseisaku@mz.pref.chiba.lg.jp

山武地域部会の開催概要

会議名

令和4年度山武長生夷隅地域保健医療連携・地域医療構想調整会議
山武地域部会

開催趣旨

東千葉メディカルセンターが地域で期待される役割を果たしていくことを目的に、山武地域における医療機能の更なる役割分担の検討を行う。

日時

令和4年7月26日（火）19時～20時半

場所

山武健康福祉センター 会議室

出席者

- ・ 山武地域内の調整会議委員（病院、医師会、保健所）
- ・ 関係者（市町首長、地元選出県議会議員）
- ・ 地域医療構想アドバイザー 等

議題 (進め方)

山武地域における今後の更なる医療機能の役割分担と連携に向けて

- ① 事務局から、山武地域における医療提供体制の状況等を説明。
- ② 各病院から、地域の中で自院が担うべきと考える役割や機能等をご発言。
- ③ ①、②を踏まえて、今後の山武地域における医療機関の役割分担と連携のあり方について、出席者で議論。

出席者からのご意見①

■ 地域の課題について

- 人口減少に伴う医療需要、疾病内容の変化への対応が大きな課題。
- 今でも少ないと言われる医療資源をどのように維持していくのか。
- クリニックの先生方が高齢化し、閉院していくのが課題。独居の高齢者は遠くに行けないので、近隣のクリニックで対応していただかないといけない部分がある。

■ 医師確保について

- 令和6年度から始まる医師働き方改革は、医師が充足してこそ実りあるものである。当地域のように医師過少のまま始まれば、今後の病院運営に大きな不安が出てくる。
- 県の修学資金の貸し付けを受けた若い医師は都会の大病院志向となり、こちらに戻ってこない。県でこちらに来るよう誘導していただきたい。
- 医師確保を4病院で競い合うのはナンセンス。4病院（※）でよそからしっかりと医師を連れてくる、あるいは魅力を見せて、若い医師が地域で開業して地域の方々と一緒に長く暮らせることが理想。

※ 東千葉メディカルセンター、さんむ医療センター、東陽病院、大網病院

出席者からのご意見②

■ 病院運営について

- 4病院に対する各自治体の財政負担が課題。今後、税収が少なくなり、社会保障費が増大する中で、各自治体が病院事業を支えていけるだけの体力を維持できるのか。
- 現在の健康保険の状況から考えると、高度医療を行えば行うほど、病院経営は赤字となるようなシステムである。
- 経営改善手段の一つとしては、コンサル等の活用、診療報酬の取り方の工夫など。

■ 医療機関の役割分担と連携について

- 各病院のカラーが違うことが、今回参加して明らかになった。疾患ごとの患者の流れを把握できると、何がこの地区のウィークポイントかがわかり、具体的な議論ができる。
- 山武地域内の医療連携は、非常に上手くいっていると認識している。逆にこういうところの連携をもっと上手くやってくれというご意見があれば、医療の現場以外の立場から、具体的に言っていただきたい。
- この辺は千葉市に近いので、超急性期、難病患者は管外に行く流れができています。隣接医療圏の医療機関と明確に色々な申し合わせすれば、患者搬送もスムーズになる。